

ガイアナ内政、経済、外交月間報告 (2024年8月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

8月のガイアナの内政、経済、外交月間報告(カリコムの動きを含む)は以下の通り。

1 概況

- 政府は電力、農業、インフラ、国防等の復旧・強化を目的に、400億ガイアナドル(約1.9億米ドル)の補正予算案を国会に提出。
- ガイアナ水道公社(GWI)は、第4、5、6地区にある計14の小規模浄水場のインフラ工事に関する約2.5億万ガイアナドル(約120万米ドル)の契約に調印。
- ExxonMobil Guyana社は、稼働中の3隻の浮体式生産貯蔵積出設備(FPSO)の今年6月の原油生産量は、ガイアナにおいて過去最高である668,000バレルを記録したと発表。
- ラテンアメリカ・カリブ経済委員会(ECLAC)は、2023年のガイアナに対する外国直接投資(FDI)は前年比64%増の71.98億米ドルであったと発表。
- アリ大統領は、ガイアナのGDPは2024年上半期に49.7%の成長を記録したと発表。非石油経済も12.6%の成長を記録したと推定されている。

2 内政

- (7日報道)国際ジャーナリスト団体の「国境なき記者団」は世界各国の報道自由度ランキングを発表し、ガイアナは昨年の60位から順位を下げ77位となった。
- (20日報道)保健省によると、デング熱の感染者は過去2週間で大幅に増加し、現時点で累計8000人以上の感染者数が確認されたと発表。
- (29日報道)エムボックス(サル痘)の世界的感染拡大の懸念の高まりを受け、保健省は、入国時の警戒強化及びワクチン備蓄の開始を発表。

3 経済

- (1日報道)政府は電力、農業、インフラ、国防等の復旧・強化を目的に、400億ガイアナドル(約1.9億米ドル)の補正予算案を国会に提出。
- (4日報道、5日政府発表)ガイアナ水道公社(GWI)は、第4、5、6地

区にある計14の小規模浄水場のインフラ工事に関する約2.5億万ガイアナドル（約120万米ドル）の契約に調印。

●（5日報道）アリ大統領は、2019年に122億ガイアナドル（約5,797万米ドル）だった農業融資が、2023年に219億ガイアナドル（約1.04億米ドル）へ大幅に増加したと発表。

●（6日報道）ExxonMobil Guyana社は、稼働中の3隻の浮体式生産貯蔵積出設備（FPSO）の今年6月の原油生産量は、ガイアナにおいて過去最高である668,000バレルを記録したと発表。

●（9日報道）ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）は、2023年のガイアナに対する外国直接投資（FDI）は前年比64%増の71.98億米ドルであったと発表。

●（13日政府発表）シン大統領府財務・公共事業担当上級大臣は、新たな廃棄物処理プラント建設に関する2.14億ガイアナドルの投資協定に署名。同プラントはデメララ東岸のカバーデン地区に設置予定であり、Professional Waste Solutions Incorporated社が建設を請け負う。

●（20日報道）バラット天然資源相は、仏Beicip Franlab社と地下貯留層評価に関する契約を締結したと発表。

●（20日政府発表）ジャグデオ副大統領は、カーボン・クレジットの歳入から1億スリナムドル（281.2万米ドル）をアメリンディアン民族及び農村地域の開発支援に充てると発表。

●（21日政府発表）天然資源省は、米Global Venture Consulting社と鉱物資源マッピングに関する180万米ドルの契約を締結。

●（27日報道）中国紫金鉱業集団は、子会社Aurora Gold Mine（AGM）社が2024年上半期にガイアナにおいて1,949キロの金を生産したと発表。

●（29日報道）政府はTTのNamalco Group社及びガイアナのGuyAmerica Construction社と、ソーズダイク・リンデン高速道路改修工事に関する1.61億米ドルの契約を締結。同事業はイスラム開発銀行の融資で実施される。

●（31日政府発表）アリ大統領は、ガイアナのGDPは2024年上半期に49.7%の成長を記録したと発表。非石油経済も12.6%の成長を記録したと推定されている。

4 カリコム

●（22日カリコム発表）ミッチェル・グレナダ首相はカリコム議長としてカリコム加盟国を代表し、エムポックス（サル痘）流行における警戒強化に関する声明を発表。